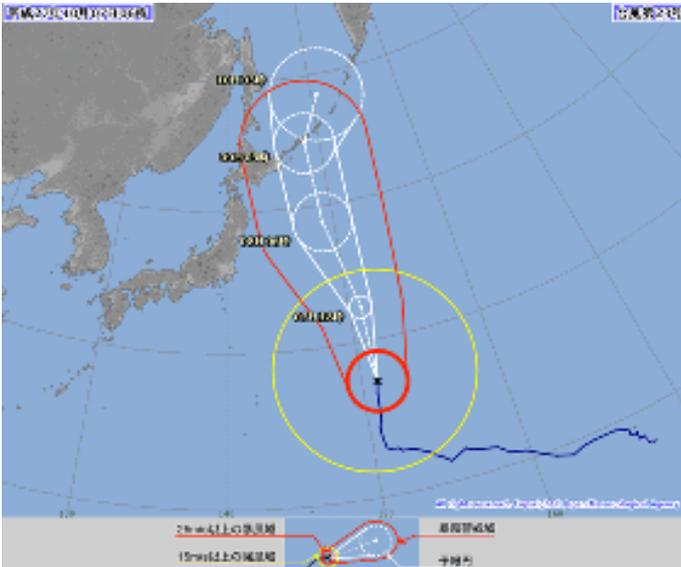


台風23号に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課



大型の台風23号が本県の東海上を通過するに伴い、県内にかなり強い風が吹く可能性がありますので、農作物等の強風対策には万全を期してください。

8日にかけて予想される最大風速（最大瞬間風速）は、下記のとおりです。

浜通り 15メートル（30メートル）

中通り 15メートル（30メートル）

会津 12メートル（25メートル）

（平成27年10月7日6時福島地方気象台発表）

今後、気象庁が発表する台風情報に留意し、農作物等の管理には十分注意しましょう。

（台風経路図は気象庁ホームページより引用）

1 作物（水稻、大豆、そば）

- （1）適期刈り取りを徹底しましょう。
- （2）倒伏が発生したほ場では刈り分けを行い、丁寧な刈り取り作業を行うことで泥の混入が無いよう注意しましょう。
- （3）収穫後の乾燥・調製作業は丁寧に行い、品質向上に努めましょう。

2 野菜・花き

（1）事前対策

ア 共通

- （ア）収穫可能なものは、できるだけ台風接近前に収穫しましょう。
- （イ）ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。
- （ウ）パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。
- （エ）パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋交いを入れ、補強しましょう。
- （オ）施設では、天窗や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。
- （カ）雨よけのみのパイプハウスなど、簡易な施設については施設内作物の収穫を終了している場合は撤去しましょう。

イ 野菜

(ア) 露地の葉菜類や根菜類では、支柱を用いてべたがけ資材（不織布等）を浮き掛けすることにより被害を軽減することができます。その際は、べたがけ資材が風に飛ばされないようしっかりと止めましょう。

(イ) アスパラガスはフラワーネットと支柱を点検し倒伏を防止しましょう。

ウ 花き

露地栽培では、フラワーネットの張りや支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

(2) 事後対策

ア 共通

(ア) ネギやキクなど倒伏したものは、茎が曲がるのを防ぐため、できるだけ早く引き起こしましょう。

(イ) 台風通過後は、吹き返しの強風に注意しながら施設等の換気を図りましょう。

イ 野菜

(ア) 損傷を受けた果実や茎葉は、早急に摘除しましょう。ネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引し直しましょう。

(イ) 収穫した野菜は、傷みがないか良く確認しながら調製作業を行いましょ

ウ 花き

キクやリンドウなど露地の花きは、強風により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布をするとともに、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょ

3 果樹

(1) 事前対策

ア 現在、収穫期に入っている果樹では、強風による落果や傷害が懸念されますので、収穫可能な果実は事前に収穫しましょ

イ 立木では、主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束します。また、側枝は支柱等で固定すると落果を助長することがあるので、支柱等はずし風になびくようにします。

ウ りんごのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。

エ 果樹棚（なし、ぶどう等）等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょ

(2) 事後対策

ア 落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょ

イ 葉などに損傷がある場合は、病原菌の侵入を防止するため、被害1～2日後に適切に薬剤散布を実施しましょ。なお、被害後に定期散布日が近い場合は、この散布に置き換えて実施します。

ウ 今後収穫期を迎える果樹では、落葉や葉の損傷が大きい場合、その程度に応じて修正摘果を行います。

エ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。また、かん水やマルチにより根の乾燥防止に努め、新根の発生を促します。大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。

4 畜産・飼料作物

(1) 事前対策

ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊を未然に防止するため、屋根、扉、窓、外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ

イ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう対策を行いましょ

(2) 事後対策

飼料用イネや飼料用トウモロコシが倒伏等の被害を受け、回復が期待できない場合には、早急に収穫調製作業を行いましょ

土砂等が混入しないよう作業速度をおとして収穫作業を行うとともに、調製にあたっては水分調整の実施や乳酸菌製剤等の発酵促進剤を添加して、サイレージの品質向上に努めましょ

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>